令和７年度　野田市農産物直売所指定管理者管理運営状況調書

担当課　　農政課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

12 月 22 日に係長及び担当者が施設を訪問し、指定管理者と打合せを行いました。

農業の振興と障がい者の自立支援を目的とした地産地消の拠点として開所して 18 年目、農事組合法人ゆめあぐり野田として 14 年目の運営状況について、販売については 12 月末で来客数 77,433 人（昨年同期 80,363 人）、販売額 125,532,288 円（昨年同期 124,723,964 円）、1 日平均 458,147 円（昨年同期 455,197 円）となりました。

管理経費について、収入の面では、令和 6 年度同期と比較すると 144,538 円増加している状況ですが、支出の面では従業員の人件費の影響により、昨年と比較し 496,455 円増加しております。

年度事業の実施状況については、前年度同様、年に４回のイベントを開催し、今年度は新たな取り組みとして、ふかし芋の提供を行いました。また、安定した品揃えを維持するために委託商品の仕入れ調整を行い、利用者の増加を目指しました。福利厚生の一環として、「ライフアップのだ」の導入を進め、生産者にとって魅力的な施設作りを積極的に推進しました。

地域貢献としては、常時雇用 10 名のうち 9 名が野田市在住であり、地元経済への貢献を強化しています。

イベントの拡充については、1 月から 5 月にかけては大規模なイベントがない

ため、過去に行っていたポイント2倍セールや特売日の開催を現在検討しています。

また、直売所を通じて市民と農業者が平等に利用できるよう、以下のような取組が行われている点を評価しました。

〇生産者に対しては、陳列台の分割や出荷量の調整などで公平性を確保し、利用者に対しては、大きな文字や高齢者・障がい者向けのサポートを提供してバリアフリーな環境を整えている。

〇利用促進のため、HPの運用改善により、リアルタイムな情報発信が行われている。また、四半期ごとに実施されるイベントを通じて顧客との交流を促進している。

〇自主事業として仕入れ販売を行い、市内で生産されない農産物の提供や端境期の不足補充、利用者の要望へ対応している。

総じて、市民と農業者の双方にとって魅力的で、利便性の高い環境が整えられ、地域への貢献が期待される取組と言えます。